

東京書籍「新編文学国語」(文国 002-901)

■「国語から旅立って」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②日本語の特質 (2) ア	・筆者の多言語体験から日本語の特質を理解し、その内容を説明している。	・筆者の多言語体験から日本語の特質を理解している。	・筆者の多言語体験から日本語の特質を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・筆者が、自分と日本語との関係が始まったと考える出来事を読み取り、根拠とともに説明している。 ・筆者が、平仮名を覚えたときのことをどのように考えているか読み取り、根拠とともに説明している。 ・筆者が、中国語や台湾語を紙に書けなかったことをなぜ「不思議」なことだと思ったのか読み取り、根拠とともに説明している。 ・「他人の言葉でなく、自分の言葉で世界を見つめた」とはどのようなことかを読み取り、根拠とともに説明している。	・筆者が、自分と日本語との関係が始まったと考える出来事を読み取っている。 ・筆者が、平仮名を覚えたときのことをどのように考えているか読み取っている。 ・筆者が、中国語や台湾語を紙に書けなかったことをなぜ「不思議」なことだと思ったのか読み取っている。 ・「他人の言葉でなく、自分の言葉で世界を見つめた」とはどのようなことかを読み取っている。	・筆者が、自分と日本語との関係が始まったと考える出来事を読み取っていない。 ・筆者が、平仮名を覚えたときのことをどのように考えているか読み取っていない。 ・筆者が、中国語や台湾語を紙に書けなかったことをなぜ「不思議」なことだと思ったのか読み取っていない。 ・「他人の言葉でなく、自分の言葉で世界を見つめた」とはどのようなことかを読み取っていない。
	④考えの形成 読(1) カ	・筆者の言語の捉え方を理解したうえで、言葉と自分との関係について考えをまとめ、説明している。	・筆者の言語の捉え方を理解したうえで、言葉と自分との関係について考えをまとめている。	・筆者の言語の捉え方を理解したうえで、言葉と自分との関係について考えをまとめている。

主体的に 学習に取り 組む態度	⑤考察	言葉と自分との関係について考えをまとめ、話し合いを通してさらに考えを深めようとしている。	言葉と自分との関係について考えをまとめようとしている。	言葉と自分との関係について考えをまとめようとしていない。
-----------------------	-----	--	---	--

■「書かれた風景の中へ」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②日本語の特質 (2) ア	- 筆者の読書体験から日本語の特質を理解し、その内容を説明している。 - 日本語について述べられた二つの随筆から日本語の特質を理解し、その内容を説明している。	- 筆者の読書体験から日本語の特質を理解している。 - 日本語について述べられた二つの随筆から日本語の特質を理解している。	- 筆者の読書体験から日本語の特質を理解していない。 - 日本語について述べられた二つの随筆から日本語の特質を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	- 筆者が、自分にとって「日本語を読む」ことがどのように始まったと考えているか読み取り、根拠とともに説明している。 - 古本屋で筆者は自分を見る周りの人たちの視線をどのように捉えていたか読み取り、根拠とともに説明している。 「風景は、すぐれて書かれた風景だった。詠まれた風景だった。」とはどのようなことを言っているか読み取り、根拠とともに説明している。	- 筆者が、自分にとって「日本語を読む」ことがどのように始まったと考えているか読み取っている。 - 古本屋で筆者は自分を見る周りの人たちの視線をどのように捉えていたか読み取っている。 「風景は、すぐれて書かれた風景だった。詠まれた風景だった。」とはどのようなことを言っているか読み取っている。	- 筆者が、自分にとって「日本語を読む」ことがどのように始まったと考えているか読み取っていない。 - 古本屋で筆者は自分を見る周りの人たちの視線をどのように捉えていたか読み取っていない。 「風景は、すぐれて書かれた風景だった。詠まれた風景だった。」とはどのようなことを言っているか読み取っていない。
	④考えの形成 読(1) カ	筆者の読書体験の理解を踏まえ、日本語の特質について考えをまとめ、根拠とともに説明している。	筆者の読書体験の理解を踏まえ、日本語の特質について考えをまとめている。	筆者の読書体験の理解を踏まえ、日本語の特質について考えをまとめている。
	⑤考えの比較 読(1) キ	日本語について述べられた二つの随筆を比べ、日本語の特質について考えを深め、説明している。	日本語について述べられた二つの随筆を比べ、日本語の特質について考えを深めている。	日本語について述べられた二つの随筆を比べ、日本語の特質について考えを深めていない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑥考察・話し合い	日本語について述べられた二つの随筆を比べ、日本語の特質について考えをまとめ、話し合いを通して、自分の考えを深めようとしている。	日本語について述べられた二つの随筆を比べ、日本語の特質について考えをまとめ、話し合おうとしている。	日本語について述べられた二つの随筆を比べ、日本語の特質について考えをまとめ、話し合おうとしていない。
-----------------------	----------	---	---	--

■「【言語活動】近況を報告しよう」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	- 手紙の形式で近況を報告することを通して、語感を磨き、季節に関する表現などの語彙を理解するとともに、より明確に伝えるためにどのような工夫が必要であるかを考察している。 - 言葉には読み手に状況や情景を想像させる働きがあることを理解し、説明している。	- 手紙の形式で近況を報告することを通して、語感を磨き、季節に関する表現などの語彙を理解している。 - 言葉には読み手に状況や情景を想像させる働きがあることを理解している。	- 手紙の形式で近況を報告することを通して、語感を磨き、季節に関する表現などの語彙を理解していない。 - 言葉には読み手に状況や情景を想像させる働きがあることを理解していない。
断 思考・判 ・表現	②内容の検討 書(1) ア	題材や情報を整理したうえで、適切な表現を選び、相手に伝わる手紙を書き、その工夫について他者に説明しようとしている。	題材や情報を整理したうえで、適切な表現を選び、手紙を書いている。	題材や情報を整理したり、適切な表現を選んだりせず手紙を書いている。
学習主体的に 組む態度	③考察・作文	自分の身の回りで起こった出来事を整理して、自分の近況を報告する手紙を書き、推敲してよりよい文章にしようとしている。	自分の身の回りで起こった出来事を整理して、自分の近況を報告する手紙を書いている。	自分の身の回りで起こった出来事を整理して、自分の近況を報告する手紙を書いていない。

■「山月記」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・漢文調を生かした語句について、指示されたものに限らず、自ら探して調べ、意味や使われ方について理解している。	・漢文調を生かした語句について、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。	・漢文調を生かした語句について、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②時代の特質 (2) ア	・作者の生きた時代背景や作者の立場を理解し、その内容を説明している。	・作者の生きた時代背景や作者の立場を理解している。	・作者の生きた時代背景や作者の立場を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握と解釈 読(1) アイ	・語り手の変化を踏まえて場面分けをして全体の構成を把握し、その内容を説明している。 ・李徴の生い立ちと人間像について読み取り、根拠とともに説明している。 ・李徴が虎になった経緯と虎になった心情を読み取り、根拠とともに説明している。 ・李徴が自らの詩を袁傔に伝えた理由と、袁傔がその作品をどのように感じたかを読み取り、根拠とともに説明している。 ・李徴の心情の変化を読み取り、根拠とともに説明している。	・語り手の変化を踏まえて場面分けをして全体の構成を把握している。 ・李徴の生い立ちと人間像について読み取っている。 ・李徴が虎になった経緯と虎になった心情を読み取っている。 ・李徴が自らの詩を袁傔に伝えた理由と、袁傔がその作品をどのように感じたかを読み取っている。 ・李徴の心情の変化を読み取っている。	・語り手の変化を踏まえて場面分けをして全体の構成を把握していない。 ・李徴の生い立ちと人間像について読み取っていない。 ・李徴が虎になった経緯と虎になった心情を読み取っていない。 ・李徴が自らの詩を袁傔に伝えた理由と、袁傔がその作品をどのように感じたかを読み取っていない。 ・李徴の心情の変化を読み取っていない。
主体的に学習に取り組む態度	④考察・話し合い	・「月」の描写がどのような効果を挙げているか、本文に即して具体的に考え、説明しようとしている。 ・李徴の生き方についての自分の考えをまとめ、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・「月」の描写がどのような効果を挙げているか、本文に即して具体的に考えようとしている。 ・李徴の生き方についての自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	・「月」の描写がどのような効果を挙げているか、本文に即して具体的に考えようとしていない。 ・李徴の生き方についての自分の考えをまとめ、話し合おうとしていない。

■「窓」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文学作品の知識 (2) ア	・サキ、カフカとその作品の特徴を理解し、その内容を説明している。	・サキ、カフカとその作品の特徴を理解している。	・サキ、カフカとその作品の特徴を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・「短編小説」が、小説を「小さな『窓』』と言ったのはどのようなことを表しているか読み取り、根拠とともに説明している。 ・「短編小説」が人を一編の小説に例えた理由を読み取り、根拠とともに説明している。 ・窓から外の風景を見ている「僕」の心情を読み取り、根拠とともに説明している。 ・場面や登場人物の設定における特徴を理解し、その効果を説明している。	・「短編小説」が、小説を「小さな『窓』』と言ったのはどのようなことを表しているか読み取っている。 ・「短編小説」が人を一編の小説に例えた理由を読み取っている。 ・窓から外の風景を見ている「僕」の心情を読み取っている。 ・場面や登場人物の設定における特徴を理解している。	・「短編小説」が、小説を「小さな『窓』』と言ったのはどのようなことを表しているか読み取っていない。 ・「短編小説」が人を一編の小説に例えた理由を読み取っていない。 ・窓から外の風景を見ている「僕」の心情を読み取っていない。 ・場面や登場人物の設定における特徴を理解していない。
	④解釈の多様性 読(1) エ	・「短編小説」が何を象徴しているかについて自分の考えをもち、根拠とともにその内容を説明している。 ・発表者の記憶の風景の発表を聞いて、さまざまな記憶の捉え方を理解し、根拠とともに説明している。	・「短編小説」が何を象徴しているかについて自分の考えをもっている。 ・発表者の記憶の風景の発表を聞いて、さまざまな記憶の捉え方を理解している。	・「短編小説」が何を象徴しているかについて自分の考えをもっていない。 ・発表者の記憶の風景の発表を聞いて、さまざまな記憶の捉え方を理解していない。

主体的に 学習に取り 組む態度	⑤作文	・ 自分自身の記憶の風景を思い出して文章を書き、発表を通してさらに考えを深めようとしている。	・ 自分自身の記憶の風景を思い出して文章を書いている。	・ 自分自身の記憶の風景を思い出して文章を書いていない。
-----------------------	-----	--	---	--

■「夏の姿」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・詩の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②詩の理解 (2) ア	・体言止めや倒置法などの作品の特徴的な表現とその効果を理解し、説明している。	・体言止めや倒置法などの作品の特徴的な表現とその効果を理解している。	・体言止めや倒置法などの作品の特徴的な表現とその効果を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・比喻を含む特徴的な表現の意味を理解し、詩の内容を読み取り、根拠とともに説明している。	・比喻を含む特徴的な表現の意味を理解し、詩の内容を読み取っている。	・比喻を含む特徴的な表現の意味を理解していないか、理解していても詩の内容を読み取っていない。
	④内容の解釈 読(1) イ	・「夏の姿」という題名に込められた作者の思いを、「夏」という言葉をもとに多角的に捉え、根拠とともに説明している。	・「夏の姿」という題名に込められた作者の思いを捉えている。	・「夏の姿」という題名に込められた作者の思いを捉えていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤解釈の提示	・象徴的な表現が示している内容を理解したうえで、描かれた情景や作者の心情を読み取り、まとめることを通して、作品への理解を深めようとしている。	・象徴的な表現が示している内容を理解したうえで、描かれた情景や作者の心情を読み取り、まとめようとしている。	・象徴的な表現が示している内容を理解したうえで、描かれた情景や作者の心情を読み取り、まとめようとしていない。

■「帰途」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・詩の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②詩の理解 (2) ア	・詩の特徴的な表現や、リズムとその効果を理解し、説明している。	・詩の特徴的な表現や、リズムとその効果を理解している。	・詩の特徴的な表現や、リズムとその効果を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・「言葉のない世界」とはどのような世界か読み取り、根拠とともに説明している。 ・「ぼくはあなたの涙のなかに立ちどまる／ぼくはきみの血のなかにたつたひとりで帰ってくる」とはどのようなことを表現しているか読み取り、根拠とともに説明している。	・「言葉のない世界」とはどのような世界か読み取っている。 ・「ぼくはあなたの涙のなかに立ちどまる／ぼくはきみの血のなかにたつたひとりで帰ってくる」とはどのようなことを表現しているか読み取っている。	・「言葉のない世界」とはどのような世界か読み取っていない。 ・「ぼくはあなたの涙のなかに立ちどまる／ぼくはきみの血のなかにたつたひとりで帰ってくる」とはどのようなことを表現しているか読み取っていない。
	④内容の解釈 読(1) イ	・逆説的な表現の中に描かれた、「言葉」に対する「ぼく」の思いを読み取り、根拠とともに説明している。	・逆説的な表現の中に描かれた、「言葉」に対する「ぼく」の思いを読み取っている。	・逆説的な表現の中に描かれた、「言葉」に対する「ぼく」の思いを読み取っていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤解釈の提示	・詩の中で表現されている「言葉」に対する「ぼく」の思いについて考えをまとめることを通して、作品への理解を深めようとしている。	・詩の中で表現されている「言葉」に対する「ぼく」の思いについて、考えをまとめようとしている。	・詩の中で表現されている「言葉」に対する「ぼく」の思いについて、考えをまとめようとしていない。

■「小諸なる古城のほとり」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・詩の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②詩の理解 (2) ア	・詩の特徴的な表現や、文語の五七調のリズムとその効果を理解し、説明している。	・詩の特徴的な表現や、文語の五七調のリズムとその効果を理解している。	・詩の特徴的な表現や、文語の五七調のリズムとその効果を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・それぞれの連に描かれている情景を読み取り、説明している。	・それぞれの連に描かれている情景を読み取っている。	・それぞれの連に描かれている情景を読み取っていない。
	④内容の解釈 読(1) イ	・描かれている情景から作者の心情を考え、説明している。 ・否定的な表現に込められた作者の思いを考え、根拠とともに説明している。	・描かれている情景から作者の心情を考えている。 ・否定的な表現に込められた作者の思いを考えている。	・描かれている情景から作者の心情を考えていない。 ・否定的な表現に込められた作者の思いを考えていない。
学習主体的に 取り組む態度	⑤解釈の提示	・作品に表現されている作者の心情について考えをまとめることを通して、作品への理解を深めようとしている。	・作品に表現されている作者の心情について、考えをまとめようとしている。	・作品に表現されている作者の心情について、考えをまとめようとしていない。

■「金剛の露—俳句抄」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	- それぞれの句の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。 - それぞれの句に使われている季語について理解し、それ以外の季語についても理解している。	- それぞれの句の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。 - それぞれの句に使われている季語について理解している。	- それぞれの句の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。 - それぞれの句に使われている季語について理解していない。
	②俳句の理解 (2) ア	俳句独自の表現の特徴と表現効果を理解し、根拠とともに説明している。	俳句独自の表現の特徴と表現効果を理解している。	俳句独自の表現の特徴と表現効果を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	それぞれの句が、どのような情景や心情を表現しているか読み取り、説明している。	それぞれの句が、どのような情景や心情を表現しているか、読み取っている。	それぞれの句が、どのような情景や心情を表現しているか、読み取っていない。
	④比較・考察 読(1) ウ	- それぞれの句の表現の特徴や技法を比較しながら理解し、説明している。 - 最も印象に残った句について、どのような点にひかれたかを、根拠をもって文章にまとめている。 - 他者の印象に残った句について書かれた文章から、俳句の表現や解釈について理解を深め、考察したことを説明している。	- それぞれの句の表現の特徴や技法を比較しながら理解している。 - 最も印象に残った句について、どのような点にひかれたかを文章にまとめている。 - 他者の印象に残った句について書かれた文章から、俳句の表現や解釈について理解を深めている。	- それぞれの句の表現の特徴や技法を比較しながら理解していない。 - 最も印象に残った句について、どのような点にひかれたかを文章にまとめていない。 - 他者の印象に残った句について書かれた文章から、俳句の表現や解釈について理解を深めていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤解釈の提示	最も印象に残った句について、どのような点にひかれたかを文章にまとめることを通して、句の表現や解釈について理解を深めようとしている。	最も印象に残った句について、どのような点にひかれたかを文章にまとめようとしている。	最も印象に残った句について、どのような点にひかれたかを文章にまとめようとしていない。

■「鞆」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②時代の特質 (2) ア	・作品の寓意が表すものから、「現代」という時代の特質を理解し、その内容を説明している。	・作品の寓意が表すものから、「現代」という時代の特質を理解している。	・作品の寓意が表すものから、「現代」という時代の特質を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・作品の舞台設定を確認し、青年の行動に対する「私」の印象を読み取り、根拠とともに説明している。 ・「私」と青年の会話から、青年が持つ鞆に対する「私」の気持ちの変化を読み取り、根拠とともに説明している。 ・鞆を持って歩く「私」の心情について読み取り、根拠とともに説明している。	・作品の舞台設定を確認し、青年の行動に対する「私」の印象を読み取っている。 ・「私」と青年の会話から、青年が持つ鞆に対する「私」の気持ちの変化を読み取っている。 ・鞆を持って歩く「私」の心情について、読み取っている。	・作品の舞台設定を確認し、青年の行動に対する「私」の印象を読み取っていない。 ・「私」と青年の会話から、青年が持つ鞆に対する「私」の気持ちの変化を読み取っていない。 ・鞆を持って歩く「私」の心情について、読み取っていない。
	④解釈の多様性 読(1) エ	・鞆が象徴するものを手がかりに、作品の主題について考えを深め、根拠とともに説明している。	・鞆が象徴するものを手がかりに、作品の主題について考えを深めている。	・鞆が象徴するものを手がかりに、作品の主題について考えを深めていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤考察	・作者がこの作品で何を描きたかったのかを読み取ったうえで文章にまとめ、作品における表現の特徴について考えを深めようとしている。	・作者がこの作品で何を描きたかったのかを読み取ったうえで、文章にまとめようとしている。	・作者がこの作品で何を描きたかったのかを読み取ったうえで、文章にまとめようとしていない。

■「あの朝」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②作品の背景 (2) ア	・登場人物の状況や心情の変化から、作品の背景を理解し、その内容を説明している。	・登場人物の状況や心情の変化から、作品の背景を理解している。	・登場人物の状況や心情の変化から、作品の背景を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・結婚前と結婚後の暮らしについて、市子はそれぞれどのように感じているか読み取り、根拠とともに説明している。 ・今後、「ひとりの朝」があったとしても「あのときとは違う」と市子が考える理由を読み取り、根拠とともに説明している。 ・かつての自分の朝について、市子はどのようなことを夫に話そうとしているのか読み取り、根拠とともに説明している。	・結婚前と結婚後の暮らしについて、市子はそれぞれどのように感じているか読み取っている。 ・今後、「ひとりの朝」があったとしても「あのときとは違う」と市子が考える理由を読み取っている。 ・かつての自分の朝について、市子はどのようなことを夫に話そうとしているのか読み取っている。	・結婚前と結婚後の暮らしについて、市子はそれぞれどのように感じているか読み取っていない。 ・今後、「ひとりの朝」があったとしても「あのときとは違う」と市子が考える理由を読み取っていない。 ・かつての自分の朝について、市子はどのようなことを夫に話そうとしているのか読み取っていない。
	④表現の特色 読(1) イ	・場面設定とその転換に伴う、市子の状況や心情の変化の描写の効果について理解し、その内容を説明している。	・場面設定とその転換に伴う、市子の状況や心情の変化の描写の効果について理解している。	・場面設定とその転換に伴う、市子の状況や心情の変化の描写の効果について理解していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤考察・話し合い	・市子の場合と比較しながら、自分の「なくすことで好きになったあれこれ」について考えをまとめ、話し合い、市子の心情の変化を読み取ろうとしている。	・市子の場合と比較しながら、自分の「なくすことで好きになったあれこれ」について考えをまとめ、話し合おうとしている。	・市子の場合と比較しながら、自分の「なくすことで好きになったあれこれ」について考えをまとめ、話し合おうとしていない。

■「初冠」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①語彙 (1) アイ	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	②表現の特色 (2) ア	・和歌の修辞や特色について理解し、その内容を説明している。	・和歌の修辞や特色について理解している。	・和歌の修辞や特色について理解していない。
思考・判断・表現	③文章の構成と展開 読(1) ア	・『伊勢物語』の初段であることを踏まえた文章の構成や展開に着目し、内容を正確に理解し、説明している。	・『伊勢物語』の初段であることを踏まえた文章の構成や展開に着目し、内容を正確に理解している。	・『伊勢物語』の初段であることを踏まえた文章の構成や展開に着目し、内容を正確に理解していない。
	④現代語訳・内容把握 読(1) アイ	・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 ・「男」の行動を読み取り、根拠とともに説明している。	・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。 ・「男」の行動を読み取っている。	・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。 ・「男」の行動を読み取っていない。
	⑤考えの形成 読(1) カ	・「男」の行動に対する作者の感想を読み取り、それに対する自分の意見や感想を持っている。	・「男」の行動に対する作者の感想を読み取っている。	・「男」の行動に対する作者の感想を読み取っていない。
学習態度 主体的に学習に取り組む態度	⑥考察・発表	・進んで「男」の行動と作者の推測や感想との関係について読み取るとともに、自分の考えを深め、他者に説明しようとしている。	・進んで「男」の行動と作者の推測や感想との関係について読み取ろうとしている。	・進んで「男」の行動と作者の推測や感想との関係について読み取ろうとしていない。

■『源氏物語』『光源氏の誕生』ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①語彙 (1) ア	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	②文章の種類と特徴 (1) イ	・『源氏物語』の概要や特徴について理解し、その内容を説明している。	・『源氏物語』の概要や特徴について理解している。	・『源氏物語』の概要や特徴について理解していない。
	③文法理解 (2) アイ	・本文中の敬語や助動詞の意味や用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の敬語や助動詞の意味や用法などの文法事項を理解している。	・本文中の敬語や助動詞の意味や用法などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	④現代語訳・内容把握 読(1) アイ	・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 ・物語全体の主人公である光源氏がどのような状況の中で誕生したのか読み取り、説明している。	・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。 ・物語全体の主人公である光源氏がどのような状況の中で誕生したのか読み取っている。	・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。 ・物語全体の主人公である光源氏がどのような状況の中で誕生したのか読み取っていない。
	⑤考えの形成 読(1) カ	・光源氏の誕生の状況設定がその後の物語の展開にどのように影響するのか、自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を説明している。	・光源氏の誕生の状況設定がその後の物語の展開にどのように影響するのか、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・光源氏の誕生の状況設定がその後の物語の展開にどのように影響するのか、自分の考えを広げたり深めたりしていない。
学習に主体的に 態度に取り組む	⑥考察・話し合い	・これまでの学習の中で『源氏物語』について言及していた作品を確認し、『源氏物語』のどのような部分が他の作品に影響しているのか考察し、話し合いを通して自分の考えをさらに深めたり広げたりしようとしている。	・これまでの学習の中で『源氏物語』について言及していた作品を確認し、『源氏物語』のどのような部分が他の作品に影響しているのか考察しようとしている。	・これまでの学習の中で『源氏物語』について言及していた作品を確認し、『源氏物語』のどのような部分が他の作品に影響しているのか考察しようとしていない。

■ [言語活動]「和歌や歌謡をもとに物語を作ろう」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①語彙 (1) アイ	・本文中で挙げられている和歌や歌謡中の古文重要語句の意味や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中で挙げられている和歌や歌謡中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中で挙げられている和歌や歌謡中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	②文章の種類と特徴 (1) ウエ	・歌物語や和歌集、歌謡の特徴について理解し、その内容を説明している。	・歌物語や和歌集、歌謡の特徴について理解している。	・歌物語や和歌集、歌謡の特徴について理解していない。
	③言語文化の特質 (2) ア	・日本の和歌や歌謡の意味合いや、そこに作者の思いが込められていることを理解し、その内容を説明している。	・日本の和歌や歌謡の意味合いや、そこに作者の思いが込められていることを理解している。	・日本の和歌や歌謡の意味合いや、そこに作者の思いが込められていることを理解していない。
断・思考・表現	④創作の工夫 書 (1) イウ	・和歌や歌謡を自分なりに解釈し、独創的な物語を創作するとともに、工夫した点について説明している。	・和歌や歌謡を自分なりに解釈し、独創的な物語を創作している。	・和歌や歌謡を自分なりに解釈し、独創的な物語を創作していない。
学習主体的に 取り組む態度	⑤考察・発表	・和歌や歌謡の背景や作者の思いを自分なりに解釈したうえで独創的な物語を創作し、その内容を他者に伝えるとともに、他者の作品に触れることで、自分の考えをさらに深めようとしている。	・和歌や歌謡の背景や作者の思いを自分なりに解釈したうえで独創的な物語を創作し、その内容を他者に伝えようとしている。	・和歌や歌謡の背景や作者の思いを自分なりに解釈したうえで独創的な物語を創作し、その内容を他者に伝えようとしていない。

■『漢詩—二首』『静夜思／飲酒』ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①語彙 (1) アイ	・漢詩中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。	・漢詩中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。	・漢詩中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	②漢詩の理解 (2) ア	・漢詩の形式ときまりを正確に理解し、朗読や暗唱などを通して優れた表現に常に親しんでいる。	・漢詩の形式ときまりを理解し、朗読や暗唱などを通して優れた表現に親しんでいる。	・漢詩の形式ときまりを理解せず、朗読や暗唱などを通して優れた表現に親しんでいない。
思考・判断・表現	③漢詩の構成と展開の理解 読(1) ア	・漢詩の構成や展開を理解したうえで、作者の心情を読み取り、説明している。	・漢詩の構成や展開を理解したうえで、作者の心情を読み取っている。	・漢詩の構成や展開を理解したうえで、作者の心情を読み取っていない。
	④現代語訳・内容把握 読(1) イ	・重要語句の意味を理解し、必要な語句を補いながら正しく現代語訳している。 ・詩の情景や、作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを、根拠を明確にして理解している。	・重要語句の意味を理解して現代語訳している。 ・詩の情景や、作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを理解している。	・重要語句の意味を理解して現代語訳していない。 ・詩の情景や、作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを理解していない。
	⑤考えの形成 読(1) カ	・自分が読み取った漢詩の内容を表すのにふさわしい表現方法で、訳詩を作成している。	・自分なりの表現で訳詩を作成している。	・自分なりの表現で訳詩を作成していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑥考察・発表	・印象に残った詩について、どこが印象的であるかを文章にまとめるとともに、他者の文章を読むことを通して、自分の考えをさらに深めようとしている。	・印象に残った詩について、どこが印象的であるかを文章にまとめようとしている。	・印象に残った詩について、どこが印象的であるかを文章にまとめようとしていない。

■「四面楚歌」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字の意味 (1) アイ	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	②言語文化の特質 (2) ア	・『史記』を読むことを通して、日本の言語文化の特質について理解を深め、説明している。	・『史記』を読むことを通して、日本の言語文化の特質について理解を深めている。	・『史記』を読むことを通して、日本の言語文化の特質について理解を深めていない。
思考・判断・表現	③文章の種類と展開の理解 読(1) ア	・『史記』の概要や特徴、物語の展開の仕方について理解し、その内容を説明している。	・『史記』の概要や特徴、物語の展開の仕方について理解している。	・『史記』の概要や特徴、物語の展開の仕方について理解していない。
	④現代語訳・内容把握 読(1) イ	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 ・項羽の軍が四面楚歌の状態であることを把握し、その内容を説明している。 ・「楚歌」が項羽を驚かせた理由について理解し、根拠とともに説明している。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 ・項羽の軍が四面楚歌の状態であることを把握している。 ・「楚歌」が項羽を驚かせた理由について理解している。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。 ・項羽の軍が四面楚歌の状態であることを把握していない。 ・「楚歌」が項羽を驚かせた理由について理解していない。
	⑤考えの形成 読(1) カ	・「力拔山兮気蓋世」の詩にうたわれた項羽の心情について考え、それに対する自分の意見や感想を持っている。	・「力拔山兮気蓋世」の詩にうたわれた項羽の心情について考えている。	・「力拔山兮気蓋世」の詩にうたわれた項羽の心情について考えていない。
学習主体に 主体的に取り組む態度	⑥考察・発表	・四面楚歌の状態となった項羽の行動や心情について自分の考えを文章にまとめ、発表や討論を通してそれをさらに深めようとしている。	・四面楚歌の状態となった項羽の行動や心情について自分の考えを文章にまとめようとしている。	・四面楚歌の状態となった項羽の行動や心情について自分の考えを文章にまとめようとしていない。

■「空っぽの瓶」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②日本語の特質 (2) ア	・人称を巡る筆者の体験や考えから、日本語の特質を理解し、その内容を説明している。	・人称を巡る筆者の体験や考えから、日本語の特質を理解している。	・人称を巡る筆者の体験や考えから、日本語の特質を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・筆者が、子供の頃に日本語の一人称を使わないようにしていた理由を読み取り、根拠とともに説明している。 ・「ぼく」と「おれ」についての筆者の考えを読み取り、根拠とともに説明している。 ・筆者が「わたしは筆先であり、ボトルは空っぽなのだ。」と感じる理由を読み取り、根拠とともに説明している。	・筆者が、子供の頃に日本語の一人称を使わないようにしていた理由を読み取っている。 ・「ぼく」と「おれ」についての筆者の考えを読み取っている。 ・筆者が「わたしは筆先であり、ボトルは空っぽなのだ。」と感じる理由を読み取っている。	・筆者が、子供の頃に日本語の一人称を使わないようにしていた理由を読み取っていない。 ・「ぼく」と「おれ」についての筆者の考えを読み取っていない。 ・筆者が「わたしは筆先であり、ボトルは空っぽなのだ。」と感じる理由を読み取っていない。
	④考えの形成 読(1) カ	・人称についての筆者の体験や考えを理解することを通して、言葉と存在の関わりについての自分のものの見方や感じ方、考え方を深め、根拠をもって説明している。	・人称についての筆者の体験や考えを理解することを通して、言葉と存在の関わりについての自分のものの見方や感じ方、考え方を深めている。	・人称についての筆者の体験や考えを理解することを通して、言葉と存在の関わりについての自分のものの見方や感じ方、考え方を深めていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤意見の提示	・人称についての筆者の体験や考えを理解することを通して、言葉と存在の関わりについて自分の考えをまとめ、その内容を説明しようとしている。	・人称についての筆者の体験や考えを理解することを通して、言葉と存在の関わりについて自分の考えをまとめようとしている。	・人称についての筆者の体験や考えを理解することを通して、言葉と存在の関わりについて自分の考えをまとめようとしていない。

■「ほんとうはあのとき……」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②作品の理解 (2) ア	・「余白」という表現に注目し、その言葉を用いることで筆者が何を伝えたいのかを意識したうえで、作品への理解を深め、その内容を説明している。	・「余白」という表現に注目し、その言葉を用いることで筆者が何を伝えたいのかを意識したうえで、作品への理解を深めている。	・「余白」という表現に注目し、その言葉を用いることで筆者が何を伝えたいのかを意識したうえで、作品への理解を深めていない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・子供の頃と大人になってからの、友達との交流の変化について読み取り、変化の理由について説明している。 ・リュドミラ・ウリツカヤについて述べられた内容から、筆者との共通点や相違点を整理し、文学作品に対する筆者の考えを根拠とともに説明している。	・子供の頃と大人になってからの、友達との交流の変化について読み取っている。 ・リュドミラ・ウリツカヤについて述べられた内容から、筆者との共通点や相違点を整理し、文学作品に対する筆者の考えを読み取っている。	・子供の頃と大人になってからの、友達との交流の変化について読み取っていない。 ・リュドミラ・ウリツカヤについて述べられた内容から、筆者との共通点や相違点を整理し、文学作品に対する筆者の考えを読み取っていない。
	④考えの形成 読(1) カ	・筆者の考えを理解し、人間関係のあり方について自分の考え方を深め、根拠とともに説明している。	・筆者の考えを理解し、人間関係のあり方について自分の考え方を深めている。	・筆者の考えを理解し、人間関係のあり方について自分の考え方を深めていない。
学習に主体的に取り組む態度	⑤考察・話し合い	・共通の体験による認識の変化を捉え、友達のありがたさについて自分の考えをまとめ、話し合いを通して、考えをさらに深めようとしている。	・共通の体験による認識の変化を捉え、友達のありがたさについて自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	・共通の体験による認識の変化を捉え、友達のありがたさについて自分の考えをまとめ、話し合おうとしていない。

■「【言語活動】思い出を文集にしよう」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・文集の文章を執筆する際に必要な言葉を理解し、正しく選択して書いており、読み手が理解しやすい言葉や表現を用いている。	・文集の文章を執筆する際に必要な言葉を理解し、正しく選択して書いている。	・文集の文章を執筆する際に必要な言葉を理解し、正しく選択して書いていない。
思考・判断・表現	②推敲・共有 書(1)エ	・文章の構成や展開、表現の仕方などについて吟味し、読み手からの助言などを踏まえて、より読み手に伝わる表現を工夫しながら文章を修正している。	・文章の構成や展開、表現の仕方などについて吟味し、読み手からの助言などを踏まえて文章を修正している。	・文章の構成や展開、表現の仕方などについて吟味し、読み手からの助言などを踏まえて文章を修正していない。
主体的に学習に取り組む態度	③考察・作文	・集団の記録を制作する目的を理解したうえで、各自が担当する文章を執筆し、活動における個人の役割について考えようとしている。	・集団の記録を制作する目的を理解したうえで、各自が担当する文章を執筆しようとしている。	・集団の記録を制作する目的を理解したうえで、各自が担当する文章を執筆しようとしていない。

■「葉桜と魔笛」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文学作品の知識 (2) ア	・作者や作者の他の作品、作品の時代背景を理解し、その内容を説明している。	・作者や作者の他の作品、作品の時代背景を理解している。	・作者や作者の他の作品、作品の時代背景を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・本文を話の展開に沿って場面分けし、それぞれの内容を要約し、説明している。 ・語り手である老夫人に関わる主要な出来事を、「私」の年齢を軸として年代順に整理し、説明している。 ・回想される出来事があった頃の「私」の心情を読み取り、根拠とともに説明している。 ・「私」がM・Tからの手紙を読み、妹に手紙を書くまでの心の動きを読み取り、根拠とともに説明している。 ・妹がなぜM・Tの名で自分に宛てて手紙を書いたのか読み取り、根拠とともに説明している。	・本文を話の展開に沿って場面分けし、それぞれの内容を要約している。 ・語り手である老夫人に関わる主要な出来事を、「私」の年齢を軸として年代順に整理している。 ・回想される出来事があった頃の「私」の心情を読み取っている。 ・「私」がM・Tからの手紙を読み、妹に手紙を書くまでの心の動きを読み取っている。 ・妹がなぜM・Tの名で自分に宛てて手紙を書いたのか読み取っている。	・本文を話の展開に沿って場面分けし、それぞれの内容を要約していない。 ・語り手である老夫人に関わる主要な出来事を、「私」の年齢を軸として年代順に整理していない。 ・回想される出来事があった頃の「私」の心情を読み取っていない。 ・「私」がM・Tからの手紙を読み、妹に手紙を書くまでの心の動きを読み取っていない。 ・妹がなぜM・Tの名で自分に宛てて手紙を書いたのか読み取っていない。
	④解釈の多様性 読(1) エ	・「葉桜と魔笛」という題名について、感じたことをまとめ、説明している。 ・この小説において、時間の流れはどのような役割を果たしているか考えをまとめ、根拠をもって説明している。	・「葉桜と魔笛」という題名について、感じたことをまとめている。 ・この小説において、時間の流れはどのような役割を果たしているか考えをまとめている。	・「葉桜と魔笛」という題名について、感じたことをまとめている。 ・この小説において、時間の流れはどのような役割を果たしているか考えをまとめている。

		・ 友達の考えを聞いて、解釈の違いに気づき、その内容を説明している。	・ 友達の考えを聞いて、解釈の違いに気づいている。	・ 友達の考えを聞いて、解釈の違いに気づいていない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑤考察・話し合い	・ この小説において、時間の流れがどのような役割を果たしているか、考えをまとめ、話し合いを通して、理解を深めようとしている。	・ この小説において、時間の流れがどのような役割を果たしているか、考えをまとめ、話し合おうとしている。	・ この小説において、時間の流れがどのような役割を果たしているか、考えをまとめ、話し合おうとしていない。

■「最後のドッジボール」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②作品の理解 (2) ア	・登場人物の関係や心情の変化を場面ごとに整理しながら、作品を理解し、その内容を説明している。	・登場人物の関係や心情の変化を場面ごとに整理しながら、作品を理解している。	・登場人物の関係や心情の変化を場面ごとに整理せず、作品を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・「黒いパソコン」のエピソードから、父の人柄を読み取り、根拠とともに説明している。 ・母が、わからない人のことを慈しむように笑みを浮かべた理由を読み取り、根拠とともに説明している。 ・「ドッジボールか？ という問いかけの輝き」とは、どのようなことを述べているのか読み取り、根拠とともに説明している。	・「黒いパソコン」のエピソードから、父の人柄を読み取っている。 ・母が、わからない人のことを慈しむように笑みを浮かべた理由を読み取っている。 ・「ドッジボールか？ という問いかけの輝き」とは、どのようなことを述べているのか読み取っている。	・「黒いパソコン」のエピソードから、父の人柄を読み取っていない。 ・母が、わからない人のことを慈しむように笑みを浮かべた理由を読み取っていない。 ・「ドッジボールか？ という問いかけの輝き」とは、どのようなことを述べているのか読み取っていない。
	④内容の解釈 読(1) イ	・「僕の手の手がはつきりと、へこみを感じ取っていた」という表現から、「僕」の気持ちを読み取り、根拠とともに説明している。	・「僕の手の手がはつきりと、へこみを感じ取っていた」という表現から、「僕」の気持ちを読み取っている。	・「僕の手の手がはつきりと、へこみを感じ取っていた」という表現から、「僕」の気持ちを読み取っていない。
	⑤解釈の多様性 読(1) エ	・子供のころの「僕」と、父親になった「僕」から見た父の姿の違いについて、考えを深め、根拠とともに説明している。	・子供のころの「僕」と、父親になった「僕」から見た父の姿の違いについて、考えを深めている。	・子供のころの「僕」と、父親になった「僕」から見た父の姿の違いについて、考えを深めていない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑥考察・話し合い	・自分の経験と比較しながら、親と子それぞれの生き方について考えをまとめ、話し合い、日常生活にも活かそうとしている。	・自分の経験と比較しながら、親と子それぞれの生き方について考えをまとめ、話し合おうとしている。	・自分の経験と比較しながら、親と子それぞれの生き方について考えをまとめ、話し合おうとしていない。
-----------------------	----------	---	---	--